

## 福祉用具専門相談員 養成講習会のご案内

福祉用具にかかる専門的知識、技術をもって相談援助、適合等を行い、福祉用具導入後も適切な利用についてサポートできる「福祉用具専門相談員」を養成する講習会を下記のとおり開催いたします。

|         |                                                                                                                                    |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時     | 7月29日(土)～8月29日(火)の間<br>8日間(概ね9:00～17:00)                                                                                           |
| 会 場     | 亀田総合病院 継続学習センター                                                                                                                    |
| 内 容     | 講義・演習を含む50時間<br>その他、1時間程度の修了試験があります                                                                                                |
| 受 講 料   | 27,000円(消費税込み・テキスト代金含む)                                                                                                            |
| 定 員     | 30名                                                                                                                                |
| 申 込 締 切 | 7月7日(金)締切                                                                                                                          |
| 申 込 方 法 | ①履歴書(市販 B4サイズ、写真貼付)、②医療・福祉に関する資格があれば保有資格の修了証明書等の写し、③返信用封筒(92円切手貼付、宛先記入)以上を下記までご郵送ください。<br>宛先 〒296-8602 鴨川市東町929<br>亀田総合病院 継続学習センター |
| 選 考 方 法 | 書類選考後に受講決定通知書を発送いたします                                                                                                              |
| お問合せ先   | 電話番号: 04-7099-1165(直通)<br>月～金 9:00～17:00                                                                                           |



## Kameda Cup 2017 in Kamogawa

今年も医療従事者のためのサーフィン大会「KamedaCup 2017」を7月16日(日)鴨川市東条海岸マルキポイントにて開催いたします。

競技はショートボード、ロングボード、ボディボードの種目別にチャレンジクラス(ターンのできる方)、エンジョイクラス(自力で波に乗れる方)、50歳以上のKAHUNAクラスを用意。そのほか、ボードをバトン代わりに5人1組で競うFUNレースや夏休み特別企画としてkidsクラスも行います。サーフィン初心者からベテランまで楽しんでいただける内容となっています。エントリー費用は1競技5,000円(大会記念品・昼食チケット・保険代込)となります。

5月30日(火)12時30分よりエントリーを開始いたしますので、KamedaCup ホームページ(<http://www.kameda.com/kamedacup2017/>)内のエントリーフォームからお申込みください。エントリー後、大会事務局より詳細をe-mailでご連絡させていただきます。先着順で定員になり次第締め切らせていただきますので、奮ってご参加ください。

## 6月1日から

## Kタワー 身障者ドライバー 専用駐車場 運用変更



当院では、Kタワー玄関横の駐車場の一部を身障者専用駐車場としてご用意しておりましたが、残念ながら必要とされている方にご利用いただけない状況が続いていたため、運用方法を見直すこととなりました。

6月から、利用者を「身障者ご自身が運転をできて移動に困難を来している場合」に限定させていただきます。ご利用の際は、障害者手帳をご持参願います。また、同乗者に体の不自由な方がいらっしゃる場合は、Kタワー玄関前で患者さまを降ろしていただき、パーキング棟など他の駐車場へ駐車願います。その間、インフォメーションスタッフが患者さまとお待ちしていますのでお声がけください。荷物も貴重品以外はインフォメーションでお預かりいたしますので、気軽にお声がけください。

ご利用の際は、到着後、代表番号(☎04-7092-2211)にお電話いただくか、直接職員にお声がけください。係りの者が障害者手帳を確認の上、チェーンを外し駐車スペースへ誘導させていただきます。また出庫される際も同様に、職員にお声がけいただくか、代表番号にお電話ください。

なお、Kタワー玄関前は、人の乗降、荷物の積み下ろし時のみ停車可能で、駐車禁止です。また5分を超える停車は駐車にあたります。周辺道路に停車、駐車している事も目立ちます。来院者さまや近隣住民の方にご不便、ご迷惑をお掛けしております。駐車場のご用意は十分にございますので駐車場をご利用ください。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

## 便失禁に対する無料電話相談

日本では500万人患者がいると言われていた便失禁。同病気で悩むの方に治療法を含む適切な情報を提供する目的で、毎月、専門医による無料電話相談を実施しております。ぜひ、この機会にご相談ください。

■日時:5月24日(水)午後2時～4時

■電話番号:04-7099-1206(直通)

■対応者:角田明良医師または高橋知子医師



# 腎移植について

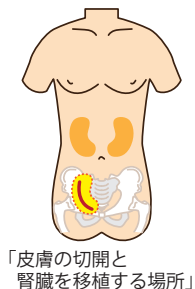
腎移植科 越智敦彦

## 第6話 「生体腎移植の手術：レシピエントの腎移植術」

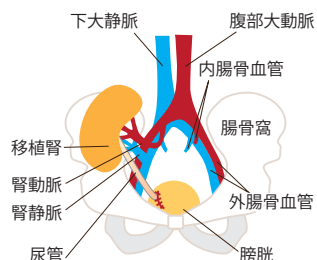
生体腎移植では末期腎不全の患者さまに健康な人（親族）の腎臓を移植して治療します。腎臓を提供する人はドナー、移植を受ける患者さまはレシピエントと呼ばれます。生体腎移植ではドナーの腎臓を採取するための手術とレシピエントへ腎臓を移植するための手術の2つの手術が必要となります。これらの手術はほぼ同時進行で行われます。第6話では生体腎移植におけるレシピエントの手術についてお話しいたします。

### 【腎臓を移植する場所】

腎臓は腰のあたりの背中側に左右で1つずつあります。腎臓を移植する場所は、自分の腎臓よりももっと下側のお腹側に移植します。ここは腸骨窩<sup>ちようこつか</sup>と呼ばれる場所です。患者さま自身の腎臓は嚢胞<sup>のうほう</sup>という水の袋がたくさんできて大きくなり移植する場所の邪魔になる場合や、膀胱の尿が逆流して感染症を起こす原因となる場合などを除いて通常は摘出しません。移植する腎臓に血液を流すため、移植する腎臓の血管を患者さまの下半身に向かう血管（腸骨血管系）につなぐこととなりますが、通常左側の腸骨血管の方が深い位置を走行しており、右の腸骨窩に移植することが多いです。

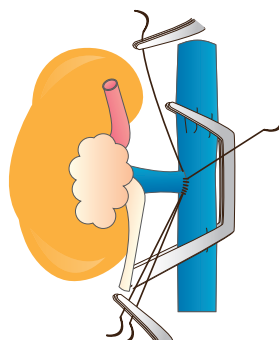


「皮膚の切開と腎臓を移植する場所」

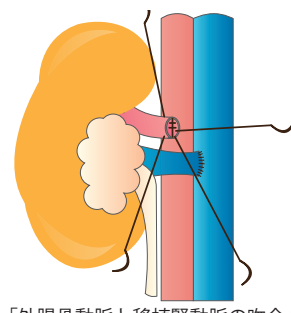


### 【手術の流れ】

手術は全身麻酔で行われます。通常は右の下腹部を20～25cmほど弧を描くように切開して、下半身に向かう腸骨血管系のまわりをはがします。血管には動脈と静脈があるので、移植する腎臓の動脈と静脈をそれぞれ腸骨血管系の動脈と静脈（通常動脈は内腸骨動脈または外腸骨動脈、静脈は外腸骨静脈）につなぎます（血管吻合）。移植した腎臓への血液を流すと、生体腎移植の場合は数分から10分程度で移植腎の尿管から尿が出はじめます。

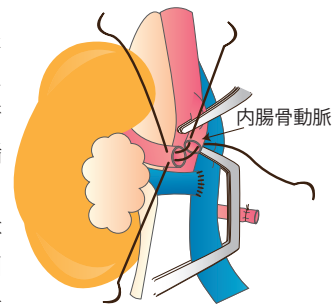


「外腸骨静脈と移植腎静脈の吻合」



「外腸骨動脈と移植腎動脈の吻合」

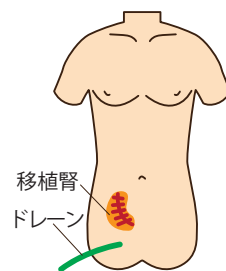
つぎに、移植した腎臓でつくられた尿の通り道である尿管を、尿をためる膀胱につなぎます（尿管膀胱吻合）。手術後にお腹の中で出血や尿の漏れがないかを確認するためにドレーンというチューブの先を体の中に入れた状態で、創を閉じ手術を終了します。手術時間は通常4～5時間程度です。



「内腸骨動脈と移植腎動脈の吻合」

### 【術後の経過】

手術当日は集中治療室（ICU）で経過を観察します。水分摂取はできませんが、大量の尿が出はじめることで体が脱水にならないように点滴を行います。手術翌日には一般床に転床します。食事が開始となり、ベッド上で動くことも可能となります。手術2日目以降は立ったり歩いたりできるようになります。通常は手術4日目に膀胱のカテーテルを抜き、自分で尿が出せるようになります。手術5日目にはドレーンを抜去します。



移植腎  
ドレーン

術後1週間は連日、エコー検査にて移植した腎臓を観察します。採血検査も行い腎臓の機能や免疫抑制剤の血中濃度などを確認します。感染症や拒絶反応が起こる場合はすぐに治療が開始となりますが、これらの問題がなく全身の状態が落ち着いていれば退院となります。

移植した腎臓に対する拒絶反応を起こさないようにするため、免疫抑制剤は内服の継続が必要となります。定期的に外来にて診察を行っていきます。

腎移植は手術を行う外科医だけでなく、さまざまな職種のスタッフがチームとなって協力し初めて成り立つ医療です。第7話からは腎移植に関わるさまざまな職種のスタッフより、腎移植に関するお話しをしていきたいと思います。

## 医師紹介

こしだ よしとも 医師  
越田 佳朋

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ① 乳腺科（部長）
- ② 乳がんを主とした乳腺疾患の手術、治療、乳がん検診、画像診断
- ③ 家庭菜園、料理
- ④ 乳腺の疾患で受診された方の不安を取り除き、安心して治療をお受け頂けますよう全力で取り組みます。ご心配なことは、何でもご相談下さい。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>